

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
 地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H26.10.29	審査会合	31	1	主要な論点	敷地の地質・地質構造を把握するために実施した調査・分析について、詳細な評価結果を説明すること。	ヒアリング6「敷地の地質・地質構造」においてご説明
H26.12.24	審査会合	37				
H26.10.29	審査会合	31	2	主要な論点	敷地周辺陸域の断層の評価において、破砕部の固結等、断層の性状のみで活動性否定の根拠としている場合は、異なる手法による活動性否定の根拠も示すこと。	ヒアリング1「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H26.12.24	審査会合	37				
H26.10.29	審査会合	31	3	主要な論点	耐震重要施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価に関わる詳細な評価結果を説明すること。	次回以降、ご説明 (基礎地盤及び周辺斜面の評価)
H26.10.29	審査会合	31	4	主要な論点	F1断層と北方陸域の断層の同時活動性を考慮するに当たり、2011年東北地方太平洋沖地震の影響を踏まえたF1断層の評価の内容及び断層両端の止めに関する評価結果を提示すること。	ヒアリング1「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H26.12.24	審査会合	37	5	主要な論点	敷地前面海域の断層の評価について、F3断層-F4断層等の形状等の詳細な評価結果を説明すること。	ヒアリング1「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H26.10.29	審査会合	31	6	主要な論点	プレート間地震について、地震規模、震源領域等の設定に関わる詳細な評価結果を説明すること。	ヒアリング3「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H26.12.24	審査会合	37				
H26.10.29	審査会合	31	7	主要な論点	プレート内地震について、ディレクティブ効果等を考慮した不確かさに関する検討内容も含め、地震規模、震源領域等の設定に関わる詳細な評価結果を説明すること。	ヒアリング4「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H26.12.24	審査会合	37				
H26.10.29	審査会合	31	8	主要な論点	「震源を特定せず策定する地震動」に関して、基準地震動評価ガイドにある地震観測記録収集対象事例の16地震について、詳細な評価結果を説明すること。	ヒアリング39「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
H26.12.24	審査会合	37				
H26.10.29	審査会合	31	9	主要な論点	津波の評価について、波源の位置、波源の特性等の設定に関わる詳細な評価結果を説明すること。	ヒアリング17「津波評価」においてご説明
H26.12.24	審査会合	37				
H26.10.29	審査会合	31	10	主要な論点	プレート間地震の波源として、2011年東北地方太平洋沖地震によって、宮城沖～福島沖の領域を含めないこととした検討内容を詳細に説明すること。	ヒアリング17「津波評価」においてご説明
H26.12.24	審査会合	37				
H26.10.29	審査会合	31	11	申請概要	原科研における東北地方太平洋沖地震の解放基盤NS成分の応答スペクトルに見られる、周期0.06秒付近のピークについて説明すること。	ヒアリング26「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	12	敷地周辺及び近傍	地震活動の発生状況と断層分布を比較したいので、図面を追加すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	13	敷地周辺及び近傍	海域断層の一覧表中で、p.19で活動性を評価したF8断層等が、p.20で活動性が無いと判断する中に入っている。表現を修正すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	14	敷地周辺及び近傍	F3～F4はどのように運動を考慮したのか資料に記載すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	15	敷地周辺及び近傍	海域断層の分布図では、普通、活動性のある断層を赤で記載するが、この図では、逆になっており分かりづらい。海域の断層評価において断層線の色使いが本論と補足資料で異なっており、表現を修正すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	16	敷地周辺及び近傍	大洗研に近いF3-F4断層は、細かく確認する必要がある。断層解釈について次回説明すること。(反射面と変位・変形の関係など)	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	17	敷地周辺及び近傍	吾国山断層評価を見ると活動性を否定する内容が書かれているが、最終的には6kmを「将来活動する可能性のある断層等」として考慮している。活動性を評価するまでの検討の流れがよくわからないので、再整理すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	18	敷地周辺及び近傍	吾国山断層について、LDリニアメントを判読しているが、なぜ、LDランクなのかがわからない。リニアメント判読基準を追記すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	19	敷地周辺及び近傍	吾国山断層について、尾根の傾斜変換点の北側の尾根は右屈曲を受けているように見えるし、崖のマークの西側の川との間の鞍部も右屈曲を受けているように見える。解像度が悪いので、もう少し詳しいカウンターマップか地形の陰影図を示すこと。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	20	敷地周辺及び近傍	吾国山断層について、陰影図を見る限り、東方延長部は更に鞍部の列が延長すると思われる。盆地を抜けると高速道路で改変されているが、盆地の中は、鞍部が連なるような地形が認められることから、再検討すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	21	敷地周辺及び近傍	吾国山断層について、陰影図を見る限り、西方延長部も鞍部が更に延長している。延長部のH面は急に途絶えており、通常の地形では考えにくいところであり、再検討すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H27.1.26	ヒアリング	1	22	敷地周辺 及び近傍	吾国山断層について、断層性状の記載で、「粘土状破砕部が膨縮する。」の用語は使い方がおかしい。断層幅が変わっているだけで、破砕部そのものが、そのような性状になっている訳ではないので、表現を修正すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	23	敷地周辺 及び近傍	吾国山断層について、南指原地点では、断層破砕部が確認されているが、露頭観察地点周辺の詳しい地形状況を確認したい。陰影図等を作成すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	24	敷地周辺 及び近傍	大洗センター北方で確認される那珂湊層群の分布と重力異常の関係について、説明すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.1.26	ヒアリング	1	25	敷地周辺 及び近傍	原科研（JRR-3）敷地については、砂丘砂層の高まりがあるが、施設を通る東西方向の地形・地質断面図を作成し、砂丘の有無で、段丘堆積物と基盤の上面に西側に低下するような落差が無いかどうかを確認すること。	ヒアリング2「敷地周辺及び敷地近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.2.24	ヒアリング	2	26	敷地周辺 及び近傍	吾国山断層の端部の評価について、事業者が判読したリニアメント延長部にも、不明瞭ではあるが変動地形の要素が確認できるので、地質情報も加え再検討すること。（No.46と同種のコメント）	ヒアリング23「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.2.24	ヒアリング	2	27	敷地周辺 及び近傍	南指原東方の露頭において、河床の砂礫と花崗岩の境界部について、断層変位の有無等が分かる資料を提示すること。	ヒアリング23「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.2.24	ヒアリング	2	28	敷地周辺 及び近傍	原子力科学研究所の西方の阿漕が浦付近に地形の傾きが確認されることから、段丘堆積物との関係を確認すること。（No.69と同種のコメント）	ヒアリング34 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.2.24	ヒアリング	2	29	敷地周辺 及び近傍	F4b-1断層の記録解釈について、他の測線記録も用いて、再度丁寧に説明すること。（No.44と同種のコメント）	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.2.24	ヒアリング	2	30	敷地周辺 及び近傍	F6断層の記録解釈について、説明すること。（No.45と同種のコメント）	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.2.25	ヒアリング	3	31	震源特定 地震動 （概要）	共） 経験的グリーン関数法の評価で用いた要素地震について記載すること。	ヒアリング7「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.2.25	ヒアリング	3	32	震源特定 地震動 （概要）	共） 応答スペクトルに基づく手法による地震動評価で用いる補正係数については、各検討用地震の選定結果の真に入れること。	ヒアリング7「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.2.25	ヒアリング	3	33	震源特定 地震動 （アード間）	共） 断層モデルを用いた手法による地震動評価結果（基本震源モデル）と東北地方太平洋沖地震の解放基盤波を比較すること。	ヒアリング4「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.2.25	ヒアリング	3	34	震源特定 地震動 （アード間）	サイクル研の地震動評価結果を原科研の地震動評価としていることについて、その適用性に関し、両サイトの地震動特性（時刻歴、スペクトル）に関して比較して示すこと。	ヒアリング5「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.2.25	ヒアリング	3	35	震源特定 地震動 （アード間）	サイクル研における地震動評価結果を用いていることを受け、サイクル研における地震動評価地点に関する情報を記載すること。	ヒアリング5「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.2.25	ヒアリング	3	36	震源特定 地震動 （アード間）	大洗研における断層モデルを用いた手法による地震動評価に用いた要素地震のうち北側の評価に用いた要素地震について、その妥当性を説明すること。	ヒアリング5「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.2.25	ヒアリング	3	37	震源特定 地震動 （アード間）	3.11地震の本震の地盤同定解析に用いた観測伝達関数について、高周波のノイズが乗っているようにも見受けられるため、確認すること。	ヒアリング5「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.4	審査会合	48	38	敷地周辺 及び近傍	共） 地震活動について、震源分布と以下のリニアメント及び地質構造との関係について整理し、その評価について丁寧に説明すること。 ・棚倉破砕帯東縁断層付近の推定活断層の北方 ・海域断層（F10断層、F8断層）付近	ヒアリング15「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.3.4	審査会合	48	39	敷地周辺 及び近傍	共） 棚倉破砕帯西縁断層（の一部）及び棚倉破砕帯東縁付近の推定活断層端部について、変動地形学的調査結果、地表地質調査結果をより詳細に示し、地質断層との関係も含めて、丁寧に説明すること。	ヒアリング15「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.3.4	審査会合	48	40	敷地周辺 及び近傍	共） 芦間町南方露頭の断層の活動性の評価について、丁寧に説明すること。	ヒアリング15「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.3.4	審査会合	48	41	敷地周辺 及び近傍	共） 芦間町南方以南において、地球物理学的調査記録、地形の詳細情報等を用いて、棚倉破砕帯の伏在する位置及び地形との関係を丁寧に説明すること。	ヒアリング15「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.3.4	審査会合	48	42	敷地周辺 及び近傍	共） 海上音波探査記録のうち、測線No.18Wにみられる伏在的な背斜構造の活動性について、近傍の測線No.16Wで認められている断層との関係を含めて説明すること。	ヒアリング15「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.3.4	審査会合	48	43	敷地周辺 及び近傍	共） F1と北方陸域 応力解放だけで同時活動性を否定することの是非について、塩ノ平断層の情報を含めて、次回以降に議論する。	ヒアリング15「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H27.3.4	審査会合	48	44	敷地周辺及び近傍	F3-F4断層について、記録解釈の内容を資料に記載し、再度説明すること。（No.29と同種のコメント）	ヒアリング21及び22「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.3.4	審査会合	48	45	敷地周辺及び近傍	F6断層について、評価内容を説明すること。（No.30と同種のコメント）	ヒアリング21及び22「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.3.4	審査会合	48	46	敷地周辺及び近傍	吾国山断層の断層端部について、変動地形調査だけでなく、地質情報も加えて再検討すること。（No.26と同種のコメント）	ヒアリング23「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	47	震源特定地震動（プレート間）	共）プレート間地震について、中央防災会議（2004）の茨城県南部の地震以外の震源域の影響を示すこと。	ヒアリング5「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	48	震源特定地震動（プレート間）	共）応答スペクトルに基づく手法による地震動評価で用いる補正係数については、用いた地震の諸元と各地震の残差を記載すること。	ヒアリング5「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	49	震源特定地震動（プレート間）	共）プレート間地震に関し断層パラメータの設定フローを加え、設定根拠を明確に記載すること。	ヒアリング5「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	50	震源特定地震動（プレート間）	共）東北地方太平洋沖地震の本震の断層モデルを用いた手法による地震動評価について、茨城県沖のアスペリティを敷地に近づけることで等価震源距離がどの程度変わるのかを示すこと。	ヒアリング5「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	51	震源特定地震動（プレート間）	共）東北地方太平洋沖地震の本震に関して、解放基盤波と経験的グリーン関数法に基づく地震動評価結果、統計的グリーン関数法に基づく地震動評価結果を併記すること。（No.124と同種のコメント）	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	52	震源特定地震動（プレート間）	共）震源を特定して策定する地震動による基準地震動Ssについては、加速度応答スペクトルでも示すこと。	ヒアリング5「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	53	震源特定地震動（プレート内）	共）世界の巨大海洋プレート内地震について、2004年以降に発生した大規模な地震を踏まえた検討を示すこと。	ヒアリング11「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	54	震源特定地震動（プレート内）	共）敷地周辺の地震分布図に関して、海洋プレート内地震に関する発生状況を示すこと。	ヒアリング11「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	55	震源特定地震動（プレート内）	共）1921年茨城県龍ヶ崎付近の地震に関する震度分布について確認すること。	ヒアリング11「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	56	震源特定地震動（プレート内）	共）アウターライズ地震について確認すること。	ヒアリング11「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.9	ヒアリング	4	57	震源特定地震動（プレート内）	共）地震本部(2009)による評価について、陸域側の領域の影響だけでなく、海域側の領域の影響についても検討すること。	ヒアリング11「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.3.23	ヒアリング	K1	58	火山	共）個々の火山について、噴火規模等のデータや活動履歴に関するダイアグラムも作成し、説明すること。	ヒアリングK2「火山影響評価」においてご説明
H27.4.22	ヒアリング	5	59	震源特定地震動（プレート間）	共）東北地方太平洋沖地震の本震の断層モデルを用いた手法による地震動評価について、経験的グリーン関数法評価で用いた要素地震の時刻歴波形を記載すること。	ヒアリング7「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.4.22	ヒアリング	5	60	震源特定地震動（プレート間）	共）東北地方太平洋沖地震の本震に関する地震動評価において、世界の巨大プレート間地震に関する知見を、どのように反映したのかを記載すること。	ヒアリング7「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.4.22	ヒアリング	5	61	震源特定地震動（プレート間）	大洗研における東北地方太平洋沖地震の本震に関する基本震源モデルについて、諸井ほか(2013)を踏まえて設定していることの妥当性を説明すること。	ヒアリング7「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.4.22	ヒアリング	5	62	震源特定地震動（プレート間）	大洗研における東北地方太平洋沖地震の本震に関する要素地震に関連して、参考資料として粒子軌跡に関する説明資料を追加すること。	ヒアリング7「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.4.22	ヒアリング	5	63	震源特定地震動（プレート間）	大洗研における東北地方太平洋沖地震の本震に関する要素地震について、より詳細な検討を行うこと。	ヒアリング7「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.4.22	ヒアリング	5	64	震源特定地震動（プレート間）	サイクル研の地震動評価結果を原科研の地震動評価としていることについて、時刻歴波形の比較に関して地震開始時間を合わせること。	ヒアリング7「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.4.22	ヒアリング	5	65	震源特定地震動（プレート間）	サイクル研の地震動評価結果を原科研の地震動評価としていることについて、時刻歴波形の類似性に関して定量的な評価を行うこと。	ヒアリング7「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.4.22	ヒアリング	5	66	震源特定地震動（プレート間）	サイクル研の地震動評価結果を原科研の地震動評価としていることについて、地盤構造の類似性に関して詳細に説明すること。	審査会合64「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.4.22	ヒアリング	5	67	震源特定地震動（プレート間）	応答スペクトルに基づく地震動評価に用いる補正係数について、±10のラインが見えにくいので修正すること。	ヒアリング7「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.5.12	ヒアリング	6	68	敷地	各調査と基準の要求事項との関係性などの位置づけをし、評価の流れが分かるよう資料を検討すること。	ヒアリング8「地下構造の評価について」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H27.5.12	ヒアリング	6	69	敷地	敷地内の断層の有無の判断には、敷地内外の他のデータも加え多角的に検討すること。	ヒアリング9 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.5.12	ヒアリング	6	70	敷地 (原科研)	原科研の東西方向の地質断面図において埋没谷を境に東側のM2段丘堆積物基底面が西側に対して東側が下がっている。M2段丘堆積物の連続性について、再確認すること。（No.28と同種のコメント）	ヒアリング34 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.5.12	ヒアリング	6	71	敷地 (原科研)	広域的な検討も加え、原科研の地質断面図に提示されている凝灰岩・鍵層の連続性の考え方を示すこと。	ヒアリング8 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.5.12	ヒアリング	6	72	敷地 (大洗研)	大洗研の敷地全体の断面図（南北方向）を作成し、地質構造を検討すること。	ヒアリング8 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.5.12	ヒアリング	6	73	地下構造	地震動特性を評価するための基準点としてKiK-netひたちなか観測点を用いていることの妥当性を示すこと。	ヒアリング8 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.5.12	ヒアリング	6	74	地下構造	解放基盤表面の面的な広がりについて、検討すること。	ヒアリング8 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.5.12	ヒアリング	6	75	地下構造	観測記録を用いた検討において、解放基盤から地表面までの浅部に関する検討を追加すること。	ヒアリング8 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.5.12	ヒアリング	6	76	地下構造	統計的グリーン関数法による地震動評価を行っていることを踏まえ、評価に用いている地盤構造モデルについて設定根拠と妥当性について示すこと。	ヒアリング8 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.5.21	ヒアリング	7	77	震源特定 地震動 (プレート間)	大洗研における東北地方太平洋沖地震の本震に関する要素地震に関連して、粒子軌跡のスケール表記に関する説明を見直すこと。	審査会合64「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.5.21	ヒアリング	7	78	震源特定 地震動 (プレート間)	大洗研における東北地方太平洋沖地震の本震に関する要素地震に関連して、直達波の射出点を震源メカニズム上に記載すること。	審査会合64「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	79	敷地	耐震Sクラスの施設を明記すること。	ヒアリング9 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	80	敷地 (原科研)	原科研のM2段丘堆積物に関する追加調査を予定している旨注記すること。	ヒアリング9 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	81	敷地 (原科研)	原科研の久米層中の鍵層について、コア観察等だけで対比しているが、火山灰分析等の結果を記載できるか検討すること。	ヒアリング34 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	82	敷地 (原科研)	原科研の久米層中の鍵層の対比に関して、No.7孔の説明に「詳細は補足資料を参照」等の記載を入れること。	ヒアリング9 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	83	敷地 (原科研)	サイクル研のボーリングデータも含めた地質調査データの提示方法を検討すること。	ヒアリング9 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	84	地下構造	申請以降に追加検討を行ったものは、その旨注記すること。	ヒアリング9 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	85	地下構造	KiK-netひたちなか観測点のデータを用いることの位置づけを整理し、原科研の観測記録を地震基盤面に引戻した検討を行うこと。	ヒアリング14 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	86	地下構造	浅部地盤構造モデルの地盤同定において、100cm/s ² 以上の加速度記録を使うことの妥当性を確認すること。	ヒアリング9 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	87	地下構造	地震波速度トモグラフィ解析の妥当性を確認すること。	ヒアリング9 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	88	地下構造 (原科研)	原科研の微動アレイ探査位置図にアレイの配置を記載すること。	ヒアリング9 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.8	ヒアリング	8	89	地下構造	各検討用地震の地震動評価手法を整理すること。	ヒアリング9 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	90	敷地	空中写真に関して人工改変の有無を確認すること。	ヒアリング10 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	91	敷地 (原科研)	原科研で実施するM2段丘堆積物の追加調査の目的がわかるよう表現を工夫すること。また、「将来活動する可能性の有る断層等」の検討における着目点ができるよう、表現を工夫すること。	ヒアリング10 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	92	敷地 (大洗研)	大洗研の敷地の断面図（I-I'、II-II'）において、地層境界が強調されており、調査結果がわかりづらくなっているため、表現を修正すること。	ヒアリング10 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	93	敷地 (大洗研)	敷地の地質層序で区分しているM1段丘堆積物と東茨城層群と、ボーリング柱状図などに記載されている、石崎層、見和層の対比が分かるよう整理すること。	ヒアリング10 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H27.6.15	ヒアリング	9	94	敷地 (大洗研)	大洗研のM1段丘堆積物の形成年代・分布状況の説明に、広域調査での鹿島行方活傾動の評価内容を追加すること。また、図面については拡大等して、見やすくすること。	ヒアリング10 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	95	敷地	敷地の地質・地質構造のまとめについて、許可基準第3条及び第4条に対応した表現とすること。	ヒアリング10 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	96	地下構造	浅部地盤構造モデルの設定において、観測スペクトル比の重ね描きを示すこと。(No.115と同種のコメント)	ヒアリング23「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	97	地下構造	浅部地盤構造モデルの設定において、伝達関数の比較がどの深度のものであるかを分かりやすくすること。	ヒアリング10 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	98	地下構造	地震波速度トモグラフィ解析結果に対する表現を見直すこと。	ヒアリング10 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	99	地下構造	地震波速度トモグラフィ結果の南北方向断面の構造境界を確認すること。	ヒアリング10 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	100	地下構造	地震波速度トモグラフィの他機関との整合性の位置付けを明確にすること。	ヒアリング10 「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.15	ヒアリング	9	101	地下構造	地震基盤設定の妥当性に、J-SHISの情報も活用する等、説明を補強すること。(No.113と同種のコメント)	ヒアリング23「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.17	ヒアリング	10	102	地下構造	浅部地盤構造モデルの設定手順において、評価に用いた地震の情報を追記すること	審査会合61「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	103	敷地 (原科研)	久米層中の鍵層の連続性について、対比した凝灰岩に関する分析結果を提示すること。	ヒアリング34 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	104	敷地 (原科研)	鍵層の連続性について、浅部にも凝灰岩が確認されているので、その連続性についても検討を行うこと。	ヒアリング34 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	105	敷地 (原科研)	対比した鍵層（kt-2）の層厚が違うがどのように検討しているのか、詳細に説明すること。	ヒアリング34 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	106	敷地 (原科研)	柱状図の記載について、No.7で「亀裂」、(3)-1孔の「岩片状」という記載について、その詳細を説明すること。	ヒアリング34 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	107	敷地 (原科研)	鍵層の連続性について、原子炉建家を囲むような断面図等も作成して、その連続性を検討をすること。	ヒアリング34 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	108	敷地 (原科研)	久米層中の凝灰岩について、原科研だけでなく敷地周辺のデータ等と対比するなど、震源断層となるような構造の有無に関する検討を行うこと。	ヒアリング34 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	109	敷地 (大洗研)	東茨城層群やM1段丘堆積物の各層の連続性について、敷地内のボーリング調査結果（写真等）などを用いて、その連続性を検討すること。	ヒアリング14 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	110	敷地 (大洗研)	大洗研究開発センター周辺で実施した反射法・屈折法地震探査結果を提示すること。	ヒアリング14 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	111	敷地	建設時の地盤の写真やスケッチを提示すること。	ヒアリング14 「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	112	地下構造	敷地地盤の地震動特性について、解析的な分析も加えた評価を行うこと。	ヒアリング23「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	113	地下構造	KiK-netひたちなか観測点のデータを用いることについて、地震基盤相当の速度構造の違い等を踏まえた検討を示すこと。	ヒアリング23「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	114	地下構造	地震基盤の深さの妥当性について、多角的な検討を行い、その妥当性を示すこと。(No.100と同種のコメント)	ヒアリング23「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	115	地下構造	浅部地盤構造モデルの同定解析について、比較的大きな地震による地盤の非線形の影響に関する検討をすること。	ヒアリング23「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	116	地下構造	浅部地盤モデルの同定解析で用いた地震について、観測記録の伝達関数を重ね描いた図を示すこと。(No.95と同種のコメント)	ヒアリング23「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.19	審査会合	61	117	地下構造	吉田ほか（2005）を参考に、浅部の地盤構造による解放基盤表面での地震動への影響について検討すること。	ヒアリング23「地下構造の評価について」においてご説明
H27.6.26	審査会合	64	118	震源特定 地震動 (θ レート間)	共) 東北地方太平洋沖地震による敷地での揺れを再現する断層パラメータを基本ケースとすることの妥当性を説明すること。また、基本ケースの設定と関連して、考慮した不確かさの妥当性についても説明すること。	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.6.26	審査会合	64	119	震源特定 地震動 (θ レート間)	共) 断層モデルの巨視的面等について、設定の妥当性を説明すること。	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）

地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H27.6.26	審査会合	64	120	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 断層モデルのアスペリティ面積比、応力降下量等の設定の妥当性を説明すること。	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.6.26	審査会合	64	121	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 要素地震の選定プロセスを記載し、説明資料を充実させること。	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.6.26	審査会合	64	122	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 断層モデルを用いた手法による地震動評価結果について、アスペリティ毎の寄与度について示すこと。	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.6.26	審査会合	64	123	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 複数の破壊開始点について検討し、影響の度合いを検討すること。	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.6.26	審査会合	64	124	震源特定 地震動 (プレート間)	原科研(JRR-3)と大洗研(HTTR)の地震動評価において、等価震源距離に差異はないが、大洗研の結果が小さくなることを説明すること。	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.6.26	審査会合	64	125	震源特定 地震動 (プレート間)	東北地方太平洋沖地震の本震に関する断層モデルを用いた手法による地震動評価について、統計的グリーン関数法による評価結果を示すこと。(No.51と同種のコメント)	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.8.26	ヒアリング	11	126	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 検討用地震の選定のプロセスについて詳細に説明すること。 (No.130と同種のコメント)	審査会合76「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.8.26	ヒアリング	11	127	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 断層パラメータのうち密度の設定根拠を示すこと。	審査会合76「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.8.26	ヒアリング	11	128	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 基本震源モデルの設定で、中央防災会議（2004）のほか最新の知見も踏まえ、数値の妥当性について検討すること。(No.131と同種のコメント)	ヒアリング13「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.8.26	ヒアリング	11	129	震源特定 地震動 (プレート内)	応答スペクトルに基づく地震動評価結果の凡例に等価震源距離を入れること。	審査会合76「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.9.18	審査会合	76	130	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 応答スペクトルに基づく手法に用いる補正係数について、詳細に記載すること。	審査会合94「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.9.18	審査会合	76	131	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 検討用地震の選定プロセスについて詳細に説明すること。(No.125と同種のコメント)	審査会合94「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.9.18	審査会合	76	132	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 基本震源モデルを中央防災会議（2004）に基づき設定しているが、中央防災会議（2004）以降の知見も考慮し、断層パラメータの検討を行うこと。(No.127と同種のコメント)	審査会合94「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.9.18	審査会合	76	133	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 断層モデルの巨視的面等について、設定の妥当性を説明すること。	審査会合94「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.10.21	ヒアリング	12	134	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 震源パラメータの妥当性について、審査会合でのコメントの主旨を踏まえて、基本震源モデルの設定から不確かさの考慮までトータルで説明すること。	ヒアリング20「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.10.21	ヒアリング	12	135	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 破壊開始点の設定の考え方について説明すること。	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.10.21	ヒアリング	12	136	震源特定 地震動 (プレート間)	原科研(JRR-3)と大洗研(HTTR)の地震動評価において、等価震源距離に差異はないが、大洗研の結果が小さくなることについて、定量的な検討を行うこと。	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.10.21	ヒアリング	12	137	震源特定 地震動 (プレート間)	東北地方太平洋沖地震の地震動の再現解析における統計的グリーン関数法による評価結果の考え方を整理すること。	ヒアリング16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.10.26	ヒアリング	13	138	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 茨城県南部の地震に関する中央防災会議(2004)と中央防災会議(2013)の知見について、基本震源モデルの位置づけ、不確かさの検討項目の考え方を整理すること。	ヒアリング18「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.10.26	ヒアリング	13	139	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 茨城県南部の地震について、中央防災会議(2004)と中央防災会議(2013)の各震源モデルや要素地震を比較示すこと。	ヒアリング18「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.10.26	ヒアリング	13	140	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 断層深さと海洋性地殻、海洋性マンタルの対応について説明すること。	ヒアリング18「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.10.26	ヒアリング	13	141	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 断層パラメータの設定フローについて、設定根拠を詳細に記載すること。	ヒアリング18「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.10.26	ヒアリング	13	142	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 波形合成法について、どの手法を用いて評価しているかを明記すること。	ヒアリング20「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.10.26	ヒアリング	13	143	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 中央防災会議（2013）の茨城県南部の地震について、応答スペクトルに基づく手法による地震動評価を実施すること。	ヒアリング20「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H27.10.28	ヒアリング	14	144	敷地周辺 及び近傍	反射法地震探査で大洗研敷地西方及び南方に認められる断層について、敷地周辺調査結果として再度説明すること。	審査会合101「敷地の地質・地質構造」においてご説明
H27.10.28	ヒアリング	14	145	敷地 (大洗研)	原子炉建家直下の地層の連続性検討について、敷地内で確認される各層毎で検討をすること。なお、資料作成にあたっては、ボーリング標高を合わせて表示する等の工夫をすること。	ヒアリング23「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.10.28	ヒアリング	14	146	敷地 (大洗研)	反射法地震探査から、敷地内について断層の有無を検討すること。	審査会合101「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H27.10.28	ヒアリング	14	147	地下構造 (原科研)	二次元断面と成層構造モデルについて資料上で不整合が見られるので、層厚・速度について確認すること。	ヒアリング23「地下構造の評価について」においてご説明
H27.10.28	ヒアリング	14	148	地下構造	KiK-netひたちなかを活用した鉛直アレー地震動特性評価の必要性について、検討すること。	ヒアリング23「地下構造の評価について」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	149	敷地周辺 及び近傍	共) 資料全般について、前回までの資料も含めて取り纏めること。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	150	敷地周辺 及び近傍	共) 棚倉破砕帯の付近、海域断層の付近、銚子付近の地震活動に関する見解を説明すること。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	151	敷地周辺 及び近傍	共) 震源断面図に地表断層の位置を記載すること。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	152	敷地周辺 及び近傍	共) 銚子付近の地震活動の要因について、他の文献も参照すること。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	153	敷地周辺 及び近傍	共) 棚倉破砕帯東縁断層北方及び棚倉破砕帯西縁断層の芦間町東方について、不整合露頭の写真に加えてスケッチも示すこと。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	154	敷地周辺 及び近傍	共) 天神林町付近における反射法地震探査範囲に対応するM1段丘面の分布状況を説明すること。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	155	敷地周辺 及び近傍	共) 原東方のL1段丘面について、人工改変の状況、火山灰分析結果を説明すると共に、走向線図とL1段丘面を重ね描いた図を示すこと。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	156	敷地周辺 及び近傍	共) 棚倉破砕帯東縁断層北方の段彩陰影図における殿山西方の地形について、地質情報を追加で示すこと。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	157	敷地周辺 及び近傍	共) 芦間町南方露頭の北方の露頭についてもスケッチ等を示すこと。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	158	敷地周辺 及び近傍	共) 天神林町付近について、M1段丘面の西端の傾斜変換点に見える箇所状況を説明すること。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	159	敷地周辺 及び近傍	共) 棚倉破砕帯西縁断層に並走する断層と天神林町付近のM1段丘面との関係を説明すること。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	160	敷地周辺 及び近傍	共) F1断層及び北方陸域断層の同時活動性評価の考え方を再整理し説明すること。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	161	敷地周辺 及び近傍	共) 海域断層におけるF11-F13の評価について説明すること。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.11.24	ヒアリング	15	162	敷地周辺 及び近傍	共) 鹿島台地・行方台地周辺の活傾動について、M1段丘堆積物の堆積状況や近傍のM2、M3段丘面の分布状況を説明すること。	ヒアリング21及び22 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H27.12.7	ヒアリング	16	163	震源特定 地震動 (プレート間)	共) プレート間地震の震源モデルにおけるアスペリティ配置の設定根拠について、考え方を整理して説明すること。	ヒアリング20「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.12.7	ヒアリング	16	164	震源特定 地震動 (プレート間)	共) プレート間地震の震源モデルにおける短周期レベルの設定根拠を不確かさの検討も含めて、整理すること。	ヒアリング20「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.12.7	ヒアリング	16	165	震源特定 地震動 (プレート間)	要素地震の応力降下量の見積りについて、説明資料を充実させること。	ヒアリング20「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.12.8	ヒアリング	17	166	津波	共) 設置変更許可申請書と比較して付記したの、また、申請時以降に追加検討を行ったものについて、分かるように明記すること。	ヒアリング21「津波評価」においてご説明
H27.12.8	ヒアリング	17	167	津波	共) 選定された基準津波について、波源設定条件も付記すること。また、基準津波策定位置の深さ海岸からの距離を明記すること。	ヒアリング19「津波評価」においてご説明
H27.12.8	ヒアリング	17	168	津波	共) 津波評価における計算条件及び計算領域について、再現解析に用いるものが津波評価に用いるものかなど、再度整理して説明すること。	ヒアリング19「津波評価」においてご説明
H27.12.8	ヒアリング	17	169	津波	共) 各パラメータスタディについて、評価点毎の津波水位を示すこと。	ヒアリング19「津波評価」においてご説明
H27.12.8	ヒアリング	17	170	津波	共) 津波評価における地殻変動量の考慮に関して詳細に説明すること。	ヒアリング21「津波評価」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H27.12.8	ヒアリング	17	171	津波	共) 茨城県沖及び茨城県沖から房総沖に想定する特性化震源モデルの断層位置設定に関して、南限の設定根拠及び考え方を提示すること。	ヒアリング21「津波評価」においてご説明
H27.12.8	ヒアリング	17	172	津波	共) 茨城県沖から房総沖に想定する特性化震源モデル(Mw8.7)の設定において、Mw8.9 未満で超大すべり域を考慮した考え方を詳細に明記すること。 また、大すべり域及び超大すべり域の面積比を示すこと。	ヒアリング19「津波評価」においてご説明
H27.12.8	ヒアリング	17	173	津波	共) 茨城県沖から房総沖に想定する特性化震源モデル(Mw8.7)における破壊開始点及び破壊伝播速度の検討において、大すべり域の中央端部にある点で最大水位上昇量を示しているが、より詳細に分析する必要がないか等について、検討すること。	ヒアリング19「津波評価」においてご説明
H27.12.8	ヒアリング	17	174	津波	共) 海底地すべり地形の抽出及び評価について、詳細を示すこと。	ヒアリング21「津波評価」においてご説明
H27.12.8	ヒアリング	17	175	津波	共) 行政機関による津波評価に関する検討は、基準津波との比較検討ではなく、基準津波選定に係る津波評価の一つとして位置付けること。	ヒアリング19「津波評価」においてご説明
H27.12.8	ヒアリング	17	176	津波	大洗研における津波想定の方針を説明すること。	ヒアリング19「津波評価」においてご説明
H27.12.22	ヒアリング	18	177	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 断層設定位置の考え方について、詳細に説明すること。	ヒアリング20「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.12.22	ヒアリング	18	178	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 震源モデルのずれの方向を横ずれとした根拠を説明すること。また、断層傾斜角の不確かさの設定の考え方を説明すること。	ヒアリング20「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H27.12.22	ヒアリング	18	179	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 地震動評価結果については速度時刻歴波形も示すこと。	ヒアリング20「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.1.5	ヒアリング	19	180	津波	共) より説明性を向上させるため、検討のプロセスや考え方を資料に記載すること。	ヒアリング21「津波評価」においてご説明
H28.1.12	ヒアリング	20	181	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 震源モデルのずれの方向を横ずれとした根拠について文献等から引用し詳細に記載すること。	審査会合94「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.1.12	ヒアリング	20	182	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 東北地方太平洋沖地震の各震源モデルに対し、敷地近くのSMGAにおけるパラメータ比較をすること。	ヒアリング24「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.1.22	審査会合	92	183	津波	共) チリ地震津波、千島海溝沿いの地震津波、明治三陸沖地震津波の扱いについて示すこと。	ヒアリング31「津波評価」においてご説明
H28.1.22	審査会合	92	184	津波	共) 東北地方太平洋沖型の津波波源の大すべり域の南限の設定の考え方を、より明確に示すこと。	ヒアリング31「津波評価」においてご説明
H28.1.22	審査会合	92	185	津波	共) 茨城県沖に想定する津波波源の北端の設定の考え方を、より明確に示すこと。	ヒアリング31「津波評価」においてご説明
H28.1.22	審査会合	92	186	津波	共) 基準津波の選定において、評価上ポイントとなるケースの津波の時刻歴波形について示すこと。	ヒアリング31「津波評価」においてご説明
H28.1.22	審査会合	92	187	津波	共) 大すべり域の位置と破壊開始点の関係が基準津波の選定に影響がないか確認すること。	ヒアリング31「津波評価」においてご説明
H28.1.22	審査会合	92	188	津波	共) 防波堤の有無が基準津波の選定に影響がないか確認すること。	ヒアリング31「津波評価」においてご説明
H28.1.22	審査会合	92	189	津波	共) 茨城県沖から房総沖に想定する津波波源(Mw8.7)について、杉野他（2014）の方法で設定した場合の影響を検討すること。	ヒアリング31「津波評価」においてご説明
H28.1.22	審査会合	92	190	津波	共) 日本海溝の海溝軸よりも沖合いについて海底火山（ブチスポット）に関する情報を収集し、検討すること。	ヒアリング31「津波評価」においてご説明
H28.1.22	審査会合	92	191	津波	共) ハワイ付近の海底地すべりについて、情報を収集し、検討すること。	ヒアリング31「津波評価」においてご説明
H28.1.29	審査会合	94	192	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 中央防災会議（2013）を採用した根拠を明記するとともに、震源モデルのずれの方向を横ずれとしていることについてさらに説明性を向上すること。	ヒアリング25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.1.29	審査会合	94	193	震源特定 地震動 (プレート内)	共) アスぺリティを移動させ等価震源距離を併記することで、断層設定位置が適切な位置となっていることを示すこと。	ヒアリング25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.1.29	審査会合	94	194	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 断層傾斜角やアスぺリティ位置等、海洋プレート内地震として考慮すべき不確かさ項目について想定の方針を踏まえて整理すること。	ヒアリング25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.1.29	審査会合	94	195	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 基本震源モデルの規模M7.3の妥当性をより詳細に説明すること。	ヒアリング25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H28.2.2	ヒアリング	22	196	敷地周辺 及び近傍	共) 芦間町南方露頭①について、不整合面と断層の関係など、活動性に係る記載をより分かりやすく示すこと。	ヒアリング24「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.2.2	ヒアリング	22	197	敷地周辺 及び近傍	共) 天神林町のM1段丘面に関する検討について、南方で実施した反射法地震探査結果との関係をはかるようにすること。	ヒアリング24「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.2.2	ヒアリング	22	198	敷地周辺 及び近傍	共) F1断層と北方陸域の断層の同時活動性評価について、以下の情報についても資料に追加すること。 ・塩ノ平断層と井戸沢断層沿いに出現した地震断層の出現範囲について ・井戸沢断層に関する基礎情報について	ヒアリング24「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.2.2	ヒアリング	22	199	敷地周辺 及び近傍	F3-F4断層資料で、断層毎に解釈有りと解釈なしの反射断面を並べて比較できるように資料修正すること。	ヒアリング24「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.2.2	ヒアリング	22	200	敷地周辺 及び近傍	共) 「将来活動する可能性のある断層等」について、「震源として考慮する活断層」へ修正すること。	ヒアリング24「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.2.2	ヒアリング	22	201	敷地周辺 及び近傍	共) 各章の冒頭に評価のまとめを記載する等、分かりやすく整理すること。	ヒアリング24「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.2.3	ヒアリング	23	202	地下構造	2DFEM解析結果に対する分析に関する記載を見直すこと。	審査会合101「地下構造の評価について」においてご説明
H28.2.3	ヒアリング	23	203	地下構造	地盤構造モデルによる結果に対して観測記録による結果の方が伝達関数が大いことを踏まえ、建家への入力地震動への考え方を整理すること。	審査会合101「地下構造の評価について」においてご説明
H28.2.3	ヒアリング	23	204	敷地 (大洗研)	敷地に地すべりがなくことについて、文献調査結果についても提示すること。	審査会合101「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H28.2.3	ヒアリング	23	205	敷地 (大洗研)	コア写真の対比について、地質断面図とコア写真の層相区分の対応が分かるよう資料修正すること。	審査会合101「敷地の地質・地質構造について」においてご説明
H28.2.3	ヒアリング	23	206	敷地周辺 及び近傍	吾国山断層のリニアメント延長部について、地形に関する資料を充実させること。	ヒアリング24「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.2.26	審査会合	102	207	敷地周辺 及び近傍	共) 棚倉破砕帯の地震動評価において、周辺の震源分布との対応も含めて検討すること。	ヒアリング37「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.2.26	審査会合	102	208	敷地周辺 及び近傍	共) 赤城水沼9,10テフラの降灰年代について、東茨城台地の地質層序との整合性も踏まえて、説明すること。	ヒアリング28「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.2.26	審査会合	102	209	敷地周辺 及び近傍	共) 東茨城台地周辺の段丘堆積物の形成年代等の検討にあたっては、山元(2013)等の最新の知見も整理すること。	ヒアリング28「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.2.26	審査会合	102	210	敷地周辺 及び近傍	共) F1断層と北方陸域断層の同時活動性評価において、塩ノ平地震断層及びその北方のリニアメントの取り扱いを検討すること。	ヒアリング28「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.2.26	審査会合	102	211	敷地周辺 及び近傍	共) 5万分の1 図幅「磯浜」に記載のある大谷川沿岸の非構造性の小断層について説明すること。	ヒアリング28「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.3.4	審査会合	104	212	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 地震動評価では東北地方太平洋沖地震を検討用地震に選定している一方で、津波評価では、これとは異なる茨城沖～房総沖の一部の領域による津波を検討対象に選定していることを踏まえ、検討用地震の選定の考え方について、津波地震との指摘もある1677年磐城・常陸・安房・上総・下総の地震の扱いも含めて整理して説明すること。	ヒアリング26「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.3.4	審査会合	104	213	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 諸井ほか(2013)に示されているアスベリティ面積比0.08とした場合の、断層パラメータの設定結果を示すこと。	ヒアリング26「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.3.4	審査会合	104	214	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 応答スペクトルに基づく評価では、東北地方太平洋沖地震における敷地での解放基盤波(観測記録)を評価結果として採用しているが、一部周期帯で断層モデル手法による評価結果を上回っていることを踏まえ、不確かさの考慮について検討すること。	ヒアリング26「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.3.4	審査会合	104	215	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 断層モデルによる手法において、強震動生成域の位置の不確かさと短周期レベルの不確かさの重畳について考慮が必要を検討すること。	ヒアリング26「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.3.4	審査会合	104	216	震源特定 地震動 (プレート間)	共) フィリピン海プレートが陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生する地震に対して破壊進展のバリアになることについて説明性を向上させること。	ヒアリング26「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.3.8	ヒアリング	25	217	震源特定 地震動 (プレート内)	共) アスベリティ位置をプレートの上端に設定するケースについて、敷地への影響の観点も踏まえ不確かさの要否について検討すること。	ヒアリング29「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.3.8	ヒアリング	25	218	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 断層傾斜角の不確かさのモデルについて、ディレクティビティ効果が表れているかを検討すること。	ヒアリング29「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）

地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H28.3.8	ヒアリング	25	219	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 不確かさケースとしての地震規模の設定において、中央防災会議（M7.3）以外の知見の考慮の必要性について検討すること。	ヒアリング29「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.3.8	ヒアリング	25	220	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 断層設定位置の妥当性に関する検討において、平面図も併記し説明すること。	ヒアリング29「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.3.8	ヒアリング	25	221	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 中央防災会議（2013）による知見として採用した項目について、説明が必要なものを追記し採用した理由を明記すること。また中央防災会議2004）採用時からすべり角を変更したことによる地震動への影響について説明すること。	ヒアリング29「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.3.8	ヒアリング	25	222	震源特定 地震動 (プレート内)	共) 検討用地震の選定において、関東諸国の地震や中央防災会議（2013）による震源についての説明を追加すること。	ヒアリング29「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.4.11	ヒアリング	26	223	震源特定 地震動 (プレート間)	共) フィリピン海プレートが破壊の伝播のバリアとなり、それより南では強震動が発生しにくいことについて説明性を向上させること。	ヒアリング27「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.4.11	ヒアリング	26	224	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 異なるプレート間で発生する地震のすべりの方向が異なる根拠について、説明を加えること。	ヒアリング27「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.4.11	ヒアリング	26	225	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 1677年延宝の地震について、津波評価における扱いを津波審査資料で説明すること。	ヒアリング31「津波評価」においてご説明
H28.4.11	ヒアリング	26	226	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 応答スペクトル手法における解放基盤波包絡スペクトル設定の考え方を説明すること。	ヒアリング27「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.4.11	ヒアリング	26	227	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 東北地方太平洋沖地震の解放基盤波の妥当性を確認できる資料を加えること。	ヒアリング27「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.4.11	ヒアリング	26	228	震源特定 地震動 (プレート間)	共) 断層モデル手法の計算結果については速度時刻歴波形も示すこと。	ヒアリング27「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.4.11	ヒアリング	26	229	震源特定 地震動 (プレート間)	原科研の解放基盤波の周期0.06秒付近に見られるピークに関して、地震観測システムの収録プロセスの確認も含めて、再検討すること。	ヒアリング27「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.4.11	ヒアリング	26	230	震源特定 地震動 (プレート間)	不確かさの検討のうち、SMGA位置の見直しについて、申請時からの変更箇所を整理すること。	ヒアリング27「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.4.19	ヒアリング	28	231	敷地周辺 及び近傍	共) F1～北方陸域断層と塩ノ平断層の同時活動の考え方及び具体的な長さを示すこと。	ヒアリング30「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.4.19	ヒアリング	28	232	敷地周辺 及び近傍	共) 沼沼周辺の非構造的な表層滑落について、周囲の地形情報及び地質名等を追記すること。	ヒアリング30「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.4.19	ヒアリング	28	233	敷地周辺 及び近傍	共) 5万分の1地質図幅「磯浜」についても断層の状況を資料に記載すること。	ヒアリング30「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.4.28	審査会合	111	234	震源特定 地震動 (プレート間)	大洗研におけるSMGA位置の不確かさを考慮したケースの短周期成分が基本震源モデル及び解放基盤波に比べて小さいことについて、その要因を分析すること。また、SMGA位置の不確かさについて再検討すること。	ヒアリング49「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.5.9	ヒアリング	30	235	敷地周辺 及び近傍	共) 沼沼周辺の小断層について、円弧状であることが分かるように記載を見直すこと。また、露頭の方向が分かるように写真撮影方向等を追記すること。	ヒアリング32「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.5.9	ヒアリング	30	236	敷地周辺 及び近傍	共) 同時活動性評価に関連して、塩ノ平地震断層トレースのエビデンスを明確にすると共に、結論を踏まえ、資料の全体構成を見直すこと。	ヒアリング32「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.5.9	ヒアリング	30	237	敷地周辺 及び近傍	共) 断層評価の一覧表において、申請時からの変更点を明示すること。	ヒアリング32「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.5.18	ヒアリング	31	238	津波	共) 茨城県沖に想定する波源を設定した根拠を経緯を含めて分かりやすく示すこと。	ヒアリング46「津波評価」においてご説明
H28.5.18	ヒアリング	31	239	津波	共) 波源の設定について、固着の程度だけで設定したような記載にはしないこと。	ヒアリング46「津波評価」においてご説明
H28.5.18	ヒアリング	31	240	津波	共) 大すべり域の移動範囲について、福島県沖までとした根拠を反映すること。	ヒアリング46「津波評価」においてご説明
H28.5.18	ヒアリング	31	241	津波	共) 概略パラメータスタディにおける瞬時破壊の取り扱いについて示すこと。	ヒアリング46「津波評価」においてご説明
H28.5.18	ヒアリング	31	242	津波	施設の立地的特徴及び施設の特徴を踏まえ、津波評価の位置付けを再整理すること。	ヒアリング46「津波評価」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H28.5.18	ヒアリング	32	243	敷地周辺 及び近傍	共) 海域F11断層の扱いについて再検討すること。	審査会合116「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.5.18	ヒアリング	32	244	敷地周辺 及び近傍	共) 赤城水沼9,10テフラの降灰年代に関する記載を見直すと共に、東茨城台地の地殻変動に関する見解を示している山元（2013）の内容についても追記すること。	審査会合116「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.5.27	審査会合	116	245	敷地周辺 及び近傍	共) F11断層については、地形地質の状況を踏まえて、地震動評価において説明すること。	ヒアリング33「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.5.27	審査会合	116	246	敷地周辺 及び近傍	共) F1断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の運動の北端の設定根拠については、塩ノ平地震断層北方に指摘されているリニアメントも含め、これまでの調査結果を整理した上で明記すること。	ヒアリング33「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.6.6	ヒアリング	33	247	敷地周辺 及び近傍	共) 文献が塩ノ平地震断層の北方に示すリニアメントの調査結果については、塩ノ平地震断層の北端に関する箇所に記載すること。	ヒアリング35「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.6.6	ヒアリング	33	248	敷地周辺 及び近傍	共) 塩ノ平地震断層付近の余震分布の位置付けを明確にすると共に、他機関の研究結果も参考とすること。	ヒアリング35「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H28.7.11	ヒアリング	36	249	震源特定 地震動 (プレート間)	近隣サイトや建家固有周期等との関係を踏まえた分析等を加えた上で、SMGA位置の不確かさについて再検討すること。	ヒアリング49「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.7.28	ヒアリング	37	250	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) アスぺリティ位置の設定について、断層上端に配置している根拠を説明すること。また、平面方向に1メッシュ空けている根拠を説明すること。	ヒアリング38「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.7.28	ヒアリング	37	251	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) GNSSを用いた検討について、2000年あたりからの歪み変化の傾向を確認するため、解析の開始時期をよりさかのぼって示すこと。	ヒアリング38「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.7.28	ヒアリング	37	252	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 気象庁カタログデータについて、最新のものをを用いて期間を更新すること。	ヒアリング38「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.7.28	ヒアリング	37	253	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 震源パラメータのうち、密度及びVsについて設定根拠を説明すること。	ヒアリング38「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.7.28	ヒアリング	37	254	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) F3断層、F4断層の運動に関して、逆断層として評価していることの説明を補足すること。	ヒアリング38「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.7.28	ヒアリング	37	255	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) F3断層、F4断層の運動に関して、地表リニアメントとアスぺリティとの関係を示すこと。	ヒアリング38「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.8.22	ヒアリング	39	256	震源 特定せず	共) M6.5以上の地震における地域差の比較での敷地周辺の特徴については、陸域のみでなく海域についても記載すること。	ヒアリング41「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
H28.8.22	ヒアリング	39	257	震源 特定せず	共) 地域差の比較については他電力の記載を参考とし、各地震毎に比較すると共に、要点を明確にすること。	ヒアリング41「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
H28.8.22	ヒアリング	39	258	震源 特定せず	共) 敷地が位置する地震地体構造区分において、垣見ほか（2003）による特徴に対し、敷地周辺の地震発生状況の考え方を整理すること。	ヒアリング41「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
H28.8.22	ヒアリング	39	259	震源 特定せず	共) 加藤ほか（2004）の位置付けについて明確にすること。	ヒアリング41「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
H28.8.26	審査会合	141	260	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 【F1断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の運動】アスぺリティ位置は敷地に近い位置に設定する方針としているものの、断層の端点とアスぺリティの間に背景領域を設けている根拠を説明すること。	ヒアリング42「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.8.26	審査会合	141	261	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 【F1断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の運動】断層上端にアスぺリティを配置することが保守的かどうかを示すこと。	ヒアリング42「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.8.26	審査会合	141	262	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 【F1断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の運動】破壊開始点について、アスぺリティの下端以外にも物理的観点に基づけば断層下端からの破壊も考えられることから、この影響検討をすること。	ヒアリング42「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.8.26	審査会合	141	263	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 【F1断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の運動】検討用地震の震源断層は、最新の強震動予測レンジに基づけばFujii and Matsu'ura(2000)等の適用外であるが、断層モデルを用いた地震動評価ではこれらの知見に基づいてパラメータ設定していることの妥当性を示すこと。	ヒアリング42「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.8.26	審査会合	141	264	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 【F1断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の運動】要素地震のコーナー周波数を示すこと。	ヒアリング42「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.8.26	審査会合	141	265	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 応答スペクトル手法に用いる補正係数において、観測記録の平均値を一部周帯でカバーしていないことについて、その妥当性を示すこと。また、観測記録の比について、一部大きいものが見られるため、補正係数への影響について確認すること。	ヒアリング42「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H28.8.26	審査会合	141	266	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	【F3断層、F4断層の運動】 地表面アメントの形状と震源モデルの設定に差が見られるため、基本震源モデルについて再検討すること。	ヒアリング51「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.8.26	審査会合	141	267	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	【F3断層、F4断層の運動】 基本震源モデルにおける地震規模を再検討すること。	ヒアリング51「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.9.12	ヒアリング	42	268	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 【F1断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の運動】 応答スペクトル手法に用いる補正係数について、設定の妥当性を再検討するとともに、断層モデル手法との対応関係について具体的に示すこと。	ヒアリング43「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.9.12	ヒアリング	42	269	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 【F1断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の運動】 影響確認用として設定したすべての破壊開始点を対象に、アスペリティからの波の重なり具合について示すこと。	ヒアリング43「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.9.12	ヒアリング	42	270	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	共) 【F1断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の運動】 アスペリティを断層の端部に設定したケースについて、不確かさの要否を検討すること。	ヒアリング43「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.9.12	ヒアリング	42	271	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	応答スペクトル手法に用いる補正係数の設定において用いている地震について、F-netで示される品質等について確認すること。	ヒアリング43「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.9.12	ヒアリング	42	272	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	応答スペクトル手法に用いる補正係数の設定について、対象施設の特徴も踏まえて検討すること。	ヒアリング43「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.9.12	ヒアリング	42	273	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	【F3断層、F4断層の運動】 基本震源モデルにおいて地震規模を上げることについての考え方を説明すること。	ヒアリング51「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H28.9.13	ヒアリング	K2	274	火山	共) 火山の活動年代や規模について、同一火山を対象としているプラントとの整合性を整理すること。	ヒアリングK3「火山影響評価」においてご説明
H28.9.13	ヒアリング	K2	275	火山	共) 降下火砕物の評価において、同規模噴火の可能性がないとした広域テフラについて等層厚線分布図を示すこと。	ヒアリングK3「火山影響評価」においてご説明
H28.9.13	ヒアリング	K2	276	火山	共) 降下火砕物シミュレーションの対象として赤城山を選定したことの理由について、補足すること。	ヒアリングK3「火山影響評価」においてご説明
H28.9.13	ヒアリング	K2	277	火山	施設の特徴等を考慮し、影響評価に用いる降下火砕物の特性について検討し、必要な特性のみを記載すること。	ヒアリングK3「火山影響評価」においてご説明
H28.10.3	ヒアリング	K3	278	火山	火山影響評価に関連する施設の設計方針を明確に説明すること。また、降下火砕物の降灰速度については、その評価に関する考え方を明確にすること。	ヒアリングK4「火山影響評価」においてご説明
H28.10.3	ヒアリング	K3	279	火山	評価対象とならない降下火砕物のパラメータ（粒径等）についてはその旨を明記すること。	ヒアリングK4「火山影響評価」においてご説明
H28.10.11	ヒアリング	44	280	Ss策定	共) 基本震源モデルの特徴や、不確かさの考慮について、設定背景を踏まえて記載すること。	ヒアリング45「基準地震動Ssの策定」においてご説明
H28.10.11	ヒアリング	44	281	Ss策定	共) 基準地震動Ssのみのスペクトル図を作成すること。	ヒアリング45「基準地震動Ssの策定」においてご説明
H28.10.11	ヒアリング	44	282	Ss策定	共) 振幅包絡線の設定（マグニチュード、等価震源距離）について、考え方を記載すること。	ヒアリング45「基準地震動Ssの策定」においてご説明
H28.10.14	審査会合	154	283	震源 特定せず	共) 地震地体構造区分の比較について、表現の適正化を図ること。	ヒアリング45「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
H28.10.14	審査会合	154	284	震源 特定せず	共) Mw6.5以上の2地震について、震源域とサイトとの異なる点の総括をまとめて記載すること。	ヒアリング45「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
H28.10.14	審査会合	154	285	震源 特定せず	2004年北海道留萌支庁南部地震の敷地の地盤物性の影響を考慮した検討について妥当性を示すこと。	ヒアリング45「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
H28.10.25	ヒアリング	K4	286	火山	提出資料2つ（火山影響評価、施設の設計方針）を1つの資料にまとめ直すこと。	審査会合163「火山影響評価」においてご説明
H28.11.8	ヒアリング	45	287	震源 特定せず	2004年北海道留萌支庁南部地震における敷地の地盤物性の影響を考慮した評価について、ロジック構成を明確にすること。	面談「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
H28.11.8	ヒアリング	45	288	Ss策定	振幅包絡線が1となる区間の秒数を記載すること。	ヒアリング47「基準地震動Ssの策定」においてご説明
H28.11.11	審査会合	163	289	火山	地理的領域外（160km超）の過去VEI6規模の噴火が発生している浅間山、箱根火山群、御嶽山について、将来の噴火をどのように考えるのか階段ダイヤグラム等によって確認すること。	ヒアリング48「火山影響評価」においてご説明

原子力科学研究所（JRR-3）大洗研究開発センター（HTTR）
地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング/ 審査会合	回数	No.	資料名	コメント内容※	回答
H28.11.15	ヒアリング	46	290	津波	JRR-3の津波設計方針について、配置設計として津波が来ないようにするか、立地条件として津波は到達しないとするかを明確にすること。	ヒアリング48「津波評価」においてご説明
H28.11.15	ヒアリング	46	291	津波	HTTRの津波設計方針について、敷地に津波が到達しないという事で整理するのか、施設に到達しないという事で整理するのかを明確にすること。	ヒアリング48「津波評価」においてご説明
H28.11.15	ヒアリング	46	292	津波	原子力科学研究所及び大洗研究開発センターの敷地の範囲、地形及び評価対象施設を配置図で明確にすること。	ヒアリング48「津波評価」においてご説明
H28.11.15	ヒアリング	46	293	津波	津波設計方針を踏まえ、津波評価の内容を再整理すること。また、最終的な津波影響評価にあたって、どのような不確かさを考慮して評価しているかを明確にすること。	ヒアリング48「津波評価」においてご説明
H28.12.9	審査会合	170	294	S s 策定	敷地の解放基盤表面が深いことを踏まえ、基準地震動に基づく建家基礎下レベルでの地震動を示すこと。	ヒアリング51「建家基礎下レベルでの地震動評価」においてご説明
H28.12.12	ヒアリング	48	295	火山	VEI6規模の噴火について、噴出量・距離等を考慮しても赤城鹿沼沼テフラが最大となることを示すこと。	次回以降ご説明 (火山影響評価)
H28.12.12	ヒアリング	48	296	津波	施設の津波設計方針について、当初の設計方針と現在の方針を示し、変更した場合はその理由も説明すること。	ヒアリング49「津波評価」においてご説明
H28.12.12	ヒアリング	48	297	津波	試験研究炉の規制対象施設を明確にした上で、津波評価の対象施設を示すこと。	ヒアリング49「津波評価」においてご説明
H29.2.13	現地調査	-	298	敷地 (原科研)	久米層中の特徴的な構造（浸食境界、サンドダイク様等）について資料に記載すること。	ヒアリング52「敷地の地質・地質構造」においてご説明
H29.2.13	現地調査	-	299	敷地 (原科研)	No.7孔の鍵層としている凝灰岩の写真を資料に追加すること。	ヒアリング52「敷地の地質・地質構造」においてご説明
H29.2.13	現地調査	-	300	敷地 (大洗研)	層序表で確認される各層の年代観について再度確認すること。	ヒアリング52「敷地の地質・地質構造」においてご説明
H29.2.13	現地調査	-	301	敷地 (大洗研)	M1段丘堆積物中に見られた白斑状生痕の写真を資料に追加すること。	ヒアリング52「敷地の地質・地質構造」においてご説明
H29.2.13	現地調査	-	302	敷地周辺及び 近傍	共) 沼沼周辺の小断層が表層滑落によるものとした根拠として、正断層の間にある逆断層系についても追記し、説明の充実化を図ること。	ヒアリング55「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
H29.2.27	ヒアリング	51	303	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	【F3断層、F4断層の連動】 応答スペクトル手法で用いるパラメータを記載すること。	ヒアリング53「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H29.2.27	ヒアリング	51	304	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	【F3断層、F4断層の連動】 断層モデル手法における時刻歴波形において2つの波群が見られる点を説明すること。	ヒアリング53「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H29.2.27	ヒアリング	51	305	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	【F3断層、F4断層の連動】 断層モデルを用いた手法について、アスペリティの深さごとに地震動への寄与度を検討すること。	ヒアリング53「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H29.2.27	ヒアリング	51	306	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	【F3断層、F4断層の連動】 アスペリティ形状を変えた場合における等価震源距離を検討すること。	ヒアリング53「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
H29.2.27	ヒアリング	51	307	震源特定 地震動 (内陸地殻内)	【F3断層、F4断層の連動】 地表地震断層から気象庁マグニチュードを算出する過程について再検討すること。	ヒアリング53「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明

※共)：日本原子力発電東海第二発電所と共通的なコメント

注) 留意事項

- ・ ひたちな観測点に関する検討について、位置づけを精査した上で、資料構成を最適化すること。(H28.2.26、審査会合(101回))
- ・ 建家・構築物への入力地震動の評価について、別途説明すること。(H28.2.26、審査会合(101回))